

14204 民俗学 I Folklore I 14140 民俗学 (前期分)		2 年次～ 前期 2 単位	
担当者	森 謙二	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	学芸(E・P e・P c・C)
サブタイトル	日本の共同体のフォークロア		
授業内容 ・ ねらい	<p>この講義では、日本の社会の多様性を前提として、日本の基層社会の構造を明らかにしていくことを目的とします。日本社会は均質ではありません。日本社会の地域性についてはいろいろなことが言われていますが、そのような社会の多様性を前提として、そのムラの社会組織あるいは祭りの問題などを中心に講義をすすめていきます。</p> <p>伝統社会の多くの社会組織は多かれ少なかれその生業（何をなりわいにして生きているか）に規定されており、その社会=共同体に依存しなければ生活ができないような社会的枠組みができていました。現代では、共同体は生産機能を解除しながら、新しい役割を担うようになってきました。住民運動などの母胎となったり、祭りなどを担う伝統文化を維持する組織として伝承されています。この講義では、このような伝統的集団の文化的変容も含めて、共同体の現代的意義についても考えていきます。</p>		
授業計画	1 日本文化の基層構造 2 同族制と年齢階梯制 3 茨城の民俗の特徴(1) 4 茨城の民俗の特徴(2) 5 ムラの社会構造 地域性 6 ムラ(村落共同体)のあり方 7 ムラの祭り 8 春祭り 9 夏祭り	10 収穫祭(秋祭り) 11 四季(暦) 12 年中行事 13 正月行事 14 盆行事 15 まとめ	
教科書 参考書	パワーポイントを用いて行うので特に使用しない。参考書は講義の時に指定する。		
評価方法	試験と出席、その他の総合評価		
事前準備学習 履修条件等			